尼崎市公営企業審議会
資　料　　第 5 号
令　和　2年　11月　24日

課題整理から考えた取組を検討する視点(案)

① まちのくらしを支える取組

課　題	取組を検討する視点
【下水道施設の老朽化】	
管　路	新たな更新手法の導入(ストックマネジメント) → 老朽化速度を予測し事業量を設定 ＋ 増加する事業量への対応
設備機器	新たな更新手法の導入(ストックマネジメント) → 老朽化速度を予測し事業量を設定 ＋ 建替え時期に連動
ﾎﾟﾝﾌﾟ場/処理場	新たな更新手法の導入(ストックマネジメント) → 老朽化速度を予測し事業量を設定 ＋ 建替え時期の分散化
【良好な水環境の形成】	
水環境の保全 → 公共下水道の保持	合流式下水道改善対策による放流水質基準の保持
水環境の保全 → 公共下水道の保持	大阪湾流域別下水道整備総合計画による放流水質基準の保持(平成22年度～令和7年度) ＋ 計画見直しへの対応(令和8年度以降)
【環境負荷の低減】	
環境負荷の低減	更新に合わせた省エネルギー化の推進

② 災害から守り備える取組

課　題		取組を検討する視点
【増加する自然災害について】		
増加する集中豪雨 → 総合治水	行政による公助(防災)	気候変動に応じた下水道施設の能力強化
		新基準に基づいた下水道施設の耐水化
	共助・自助への展開(減災)	市民民間事業者との貯留機能向上の取組の継続
		市民・事業者への下水道施設の積極的な情報発信
大規模な地震	行政による公助(防災)(減災)	老朽化にあわせた管きょの耐震化 ＋ 老朽化していないエリアの地震対策
		ポンプ場・処理場機能の確保
		マンホールトイレの設置
		業務継続計画(BCP)の継続と充実
	共助・自助への展開(減災)	マンホールトイレの設営の共助
		非常用トイレの備蓄など自助の促進

③ 将来へ事業をつなげる取組

課　題	取組を検討する視点
【財政運営への懸念について】	
将来人口の減少	使用料収入の減少に応じたアセットマネジメントの実践
積立金の活用	大規模投資への建設改良積立金の活用
【事業運営体制について】	
技術力の確保	将来を担う若手職員への技術継承 ＋ 新たな課題にチャレンジできる人材の育成
【市民が意識する不安や関心について】	
広報活動の充実	下水道に関する情報と共助・自助に繋がる情報の発信